

令和7年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立

三潴

高等学校

学校番号

66

| | | |
|---|---|--|
| スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像) | 世界で輝くアスリート、地元で輝く人材を育てる学校 世界的なトップアスリートをはじめ、スポーツに関する充実した学びを広く生かして活躍する人材を育成するとともに、進学や公務員・民間就職等の多様な進路に対応した地域密着型の教育活動を展開し、地域振興を支える人材を育成します。 | |
| スクール・ポリシー (三つの方針) | グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針) | ・基礎、基本の徹底から応用に至る様々な学力の習得。 ・論理的思考力や課題解決力の育成。 ・自分のイメージや考えを言語化し、表現する・伝える力の育成。 ・スポーツを科学的に捉え再現性を高められる能力の育成。 ・各部活動に於いて専門的な高い知識と技術力を持った生徒の育成。 |
| | カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針) | ・「将来の道」を見つけ、希望進路の実現を可能にする、年次に応じたクラス選択制。 ・私立大学や医療系学校、及び公務員や就職試験に応じたカリキュラムの編成。 ・地元自治体や地元企業の取り組みへの参画やインターンシップの実施を通じた、「協働」と「経験」重視の人材育成。 ・「教養科目」、「専攻スポーツ実技」、「スポーツ科学トレーニング」、「スポーツ文化講座」等の多様な学習の場を提供。 |
| | アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針) | ・進学、就職など幅広い進路を検討し、その実現を目指して継続した努力ができる人。 ・将来、社会の一員として地域で活躍したいという強い意志と熱意を持つ人。 ・スポーツを愛し、将来スポーツの普及、発展に貢献しようとする意欲を持った人。 |

学校運営計画(4月)

| 学校運営方針 | | | 評価 (総合) |
|--|----------------------------|---|------------|
| 昨年度の成果と課題 | 年度重点目標 | 具体的目標 | |
| 【成果】 創立101年目となった昨年度、「総合的な探究の時間」において、地域活性化に向けたイベントを企画・実施し、新たな取組へと発展させることができた。また、特色化の新たなステージに向けて研究を進め、令和7年度新入生からの新カリキュラムを開始することができた。更に、学校説明会の実施方法を改善するとともに、HP、SNS等をとおしたスピード感ある広報活動を行うことができ、一定の効果が得られた。 | | | |
| 【課題】 生徒主体の学校行事の実施及び探究活動の深化等により生徒の活躍の場面を更に増やし、自分の考えを自信をもって表現できる生徒の育成につなげたい。また、小規模校であることを強みとし、生徒一人一人に寄り添う指導を行い、生徒が将来の夢を見つけ、第一志望進路の実現を可能にする学校づくりを進める必要がある。更に、中学生や地域のニーズを的確に捉え、学校の特色を効果的に発信することにより、生徒募集につなげていく必要がある。 限られた条件の中、伝統を革新する柔軟な発想で魅力化を図り、地域から『必要とされる学校』となるよう新しい三潴高校を創造していくなければならない。 | 1 学習意欲向上による学力向上 | ・AL・ICT教育を推進することにより、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。 ・観点別評価を取り入れた透明性のある評価規準を確立し、学習意欲の向上を図る。 ・生徒の実態把握に努め、能力に応じた教育を効果的に提供する。 | |
| | 2 自律・主体性の習得 | ・自ら考え、判断し行動して目標達成や課題解決をすることができる力を身に付ける。 | |
| | 3 表現力・伝える力の育成 | ・多様な場で成果発表を多く経験することで、プレゼンテーションやフィードバックの力を養う。 | |
| | 4 進路実現に向けたキャリア教育の充実 | ・3年間を見通した教育活動を実践するためロードマップを活用し、計画的にキャリア教育を推進する。 ・各分掌・学年が連携することにより、第一希望の進路実現に努める。 | |
| | 5 社会の一員としての自覚を持つ、心豊かな人間の育成 | ・「時間の厳守」「さわやかな挨拶」「心を込めた清掃」を徹底することにより、規範意識・自尊感情を醸成する。 ・自分で考え行動する力を付けることで、当たり前のことが当たり前にできる生徒の育成を図る。 ・常に率先垂範に努め、生徒の自主性が育まれるような生徒指導を目指す。 | |
| | 6 地域に開かれた学校づくりの推進 | ・HP、Instagram、X等を通して広報活動を充実させるとともに、地域と協働し、魅力ある学校づくりに努める。 ・定期中学校訪問等、戦略的広報活動に取り組み、学校全体で生徒募集に努め、地域との交流を活発化させる。 ・地域行事等にボランティアとして参加するとともに、地域参加型の学校行事を企画し、地域に開かれた学校づくりに努める。 | |
| | 7 「スポーツの三潴」の充実・発展 | ・「する・観る・支える・知る・極める」ことを自分で考え、行動する生徒を育成する。 ・スポーツ文化コースの特色を活かし部活動の競技力向上及び、学校全体の活性化と充実振興に努める。 ・健康教育と安全教育を推進する。 | |
| | 8 自他の人間性を認めることによるいじめの撲滅 | ・心を育む道德教育の充実を図り、人としての使命感、責任感を持った生徒を育成する。 ・SC、SSW、PTA等と情報を共有し、いじめや不登校の防止に努める。 | |

| 評価項目 | 具体的目標 | 具体的方策 | 生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等 | 生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等 |
|-------------------------|---|--|--|----------------------------------|
| 特色ある学校 づくり | 地域に根ざした発信力ある学校づくりの 推進 | 地域行事等に参加し、地域社会に貢献するとともに、魅力ある地域を作るための提案や、魅力の発信の仕方などについて、高校生ならではの視点を發揮できる協働的な学習活動の場面づくりを推進していく。また、地域に根ざす学校の在り方を更に追求するとともに情報発信の強化に努める。 | 学校満足度調査及び実績 | |
| | | 3年間を見通した教育活動(ロードマップ)を推進し、大学や地元企業との連携をとおしたカリキュラムの工夫をとおして、地域社会に貢献する人材育成を目指す。 | 学校満足度調査及び実績 | |
| | 「スポーツの三潴」を中心とした魅力ある 学校づくりと活性化の推進 | スポーツ教室等、地域との交流を深めることをおして、スポーツを「する・観る・支える・知る・極める」生徒の育成を図り、「スポーツの三潴」の充実・発展を推進する。 共生社会を視野に入れた実習等魅力あるカリキュラムの工夫と実践をとおして、生徒の学力向上と進路実現を図る。 | 学校満足度調査及び実績 | |
| 教務 | 生徒の力を伸ばすカリキュラムの見直し | コースの目標を明確にし、私立文系難関大学、医療系専門学校、一般就職等に幅広く対応できるようなカリキュラムの研究・開発を継続する。 | 学校満足度調査及び授業アンケート | |
| | | 授業アンケートを年間2回実施し、授業改善に努める。 | | |
| 学習指導 | 自分のイメージや考えを言語化し、表現する・伝え る力を育成できる授業改善 | 各教科の年間指導計画に、ICT活用を含め、自分のイメージや考えを言語化し表現し伝える活動を含める。 | 学校満足度調査及び授業アンケート | |
| | | 観点別評価の基準を明確にし、授業における生徒の活動を活発化する。 | | |
| 式典・諸行事 | 検定等の合格率向上のための支援 | 進路部、英語科、情報科、学年と連携し、検定を毎学期実施する。 | 学校満足度調査及び実績 | |
| | | 資格取得率の向上を目指し、生徒に対する支援強化期間を設定する。(何らかの資格を取得した生徒の割合90%以上) | | |
| PTA活動 同窓会活動 後援会活動 | PTA活動の活性化 | PTA役員と協力して魅力あるPTA活動内容を実行し、活性化を図る。また、本校の魅力を保護者からも広めてもらう関係作りを目指す。 | 実績等 | |
| | | 広報課と連携して作成するPTA新聞を活用して、PTA活動や学校行事・部活動実績など、生徒の生き生きとした教育活動を周知してもらう。 | 実績等 | |
| 広報 | 同窓会・後援会との連携 | 同窓会および後援会との連携を深め、支援をいただける環境を作る。 | 実績等 | |
| | | | | |
| 広報活動の活性化 | 学校案内パンフレットの内容の充実 | 紹介内容の精査を行い、各コースの特色がより伝わる内容にする。 | 入学時アンケート及び実績(配布数等) | |
| | | 写真を含めたレイアウトの工夫を行い、多くの人に配布を行う。 | | |
| | | HP・SNSでの更新を月5回以上行い、学校情報の発信を行う。 | 入学時アンケート・学校満足度調査及び 実績(HP・SNS等の発信数・閲覧数等) | |
| | | 学校行事等の様子を動画にまとめ、生徒の実際の様子をHP・SNS等に随時配信する。 | | |
| | | 広報誌の発行の回数を増やし、紙媒体での学校情報を提供する。 | | |
| | HPやSNS、広報誌等における情報発信の充実 | 日程等を示した学校ポスターを作成し、中学校などに掲示してもらう。 | 入学時アンケート及び実績(配布数等) | |
| | | 生徒募集に役立つ、よりインパクトある作品・アイテムを作成する。 | | |
| | | より多くの人に見もらえるようにHPやSNSなどの閲覧数など多面的に分析し、傾向を把握し、活用の改善を適宜行う。 | | |
| | 生徒募集活動の強化、中学校との信頼関係の構築 | 学校案内パンフレット・HP・SNS・広報誌の媒体同士を連動させ、各媒体の特徴を活かした情報配信を行う。 | 入学時アンケート | |
| | | 中学校訪問回数を増やし、情報交換を重ね、さらなる信頼関係を構築し生徒募集に繋げていく。 | 入学時アンケート | |
| | | ポスター配布等、目的を明確にした効果的な訪問とする。 | | |
| | | 本校主催の行事への参加数が増えるよう工夫した広報活動を行う。 | | |
| | 本校生徒の魅力の発信 | 進路相談事業や中学生体験入学で本校生徒の活躍の場と中学生とのふれあいの場を設けるなど、学校の魅力が伝わるよう工夫を行う。 | 参加者アンケート | |

模式3

| | | | | | |
|----------------------|----------------------------|---|---|-------------|--|
| 生徒指導 | 学校行事や生徒会活動の支援 | 学校行事を通して、生徒会執行部を中心に各種委員会と連携を図る。 | 実績等 | | |
| 生徒の活躍の場の充実 | | 学校行事のスリム化を検討しながら、人数減少に負けない生徒のやる気や、楽しさを引き出す学校行事の企画運営を目指す。 | | | |
| 健康管理 安全管理 環境美化 | 部活動支援の充実 | 外部指導者の活用や外部施設等の利用等により、環境整備を行う。 | 実績等 | | |
| | | 部活動数や予算の整理等を行い、安全面への対応を組織的に検討していく。 | | | |
| | | 安心・安全な活動が行えるよう施設設備の点検を定期的に行う。 | | | |
| 教育相談 | 生徒保健委員会の充実と活性化 | 生徒の健康面や安全面に対する关心や意識を高めるため、「保健だより」を発行する。内容について検討・創意工夫を図る。 | 実績等 | | |
| | | 環境衛生に気を配り、石鹼・消毒アルコールの補充を徹底する。 | | | |
| | 安全点検の実施 | 各学期ごとに安全点検を実施する。 | 実績等 | | |
| | | 学校行事に合わせ、全校生徒で校内美化に努めるための計画を提示する。 | | | |
| キャリア教育の推進 | 生徒美化委員会の充実と活性化 | 清掃に必要な備品の確認と、補充・保管場所の確認を徹底する。 | 実績等 | | |
| | | 課題を抱える生徒への、柔軟できめ細かい対応 | | | |
| | | 課題を抱える生徒の情報を教職員間で共有し、SCの活用で早期対応に努める。生徒の配慮すべき事情について、養護教諭と連携し、関係職員と情報交換を行う。 | | | |
| 探究活動の深化 | 特別支援教育の充実 | 支援が必要な生徒を把握し、個別の支援計画・指導計画の作成と教育相談を実施する。 | 実績等 | | |
| | | SCによる研修等を通じて、多様な生徒に対応する力を高める。 | | | |
| | | 探究活動と進路ガイダンスを通して生徒のキャリアプランニングの基礎を構築する。 | | | |
| 研修 | 生徒に高い志を持たせるキャリアプランニング力の育成 | Classiを活用し、各学年・分掌と連携して生徒が自ら学ぶ姿勢を伸ばす。 | 振り返りシート(キャリアパスポート) | | |
| | | 模擬試験等を活用して学習内容の定着を図るとともに、結果を教員間で共有し、学習到達度に応じた学習指導を行う。 | | | |
| | 外部支援活用による希望進路実現に向けた取組の充実 | 就職希望者向けの外部講師によるガイダンスや講座を通して、進路実現に向けた主体性を育む。 | 実績(スタディーサポート・実力診断テスト・総合学力テスト等) | | |
| コース特性の強化 | 総合的な探究の時間における探究活動の充実 | 生徒自らが課題を設定し探究活動に主体的に取り組む計画を立て、職員全体で取り組む体制を作る。 | 振り返りシート(キャリアパスポート) | | |
| | | 地域や外部機関との連携を密にし、地域の課題に積極的に取り組む態度を育成し、主体的で実践的な探究活動にする。 | | | |
| | 探究活動を通じた、主体性や表現力の向上、希望進路実現 | 探究活動の成果共有のためのプレゼンテーションの機会を設定し、思考力や表現力を養う。 | 探究活動の相互評価 | | |
| 事務部 | 教育活動が活発に行われるための支援 | 進路実現に向けた探究活動を企画し、進路意識を高めるとともに主体的に行動する態度を育成する。 | 振り返りシート(キャリアパスポート) | | |
| | | 本校の課題を踏まえ、かつ時代的に必要性の高い研修を計画・実施する。また、研究授業や授業参観週間を活用して教科指導力の向上を図る。 | 職員へのアンケート及び実績 | | |
| | | 人権・同和教育の充実 | 生徒の実態や課題、社会情勢に応じた教材を用い、人権・同和教育授業の指導案を担当者のみならず協力して作成し、効果的な授業を実施する。 | 生徒アンケート及び実績 | |
| 生徒・職員の安全安心の確保 | 事故等の未然防止による生命・財産の保全 | 校内外における他者との交流や地域貢献活動を通して社会性を育成するために、地域の行事やボランティア活動に参加する。 | 実績等 | | |
| | | 進路部と連携して就職希望者の就職率100%を達成するために、学年を超えた指導体制の構築 | | | |
| | | 職員に向けた、授業を充実させるためICTに関する情報の発信 | | | |
| 円滑な事務処理の推進 | 業務改善による円滑な事務処理と教育活動への支援 | 小学校との連携事業を実施する。(西牟田・三潴・犬塚小学校) | 実績等 | | |
| | | スポーツの分野(する・観る・支える・知る・極める)で地域で活躍する人材を育成する。実習の厳選を行い、魅力あるスポーツ文化コースを目指す。 | | | |
| | | 職員への諸連絡は今後も学校ポータルサイトを活用し周知もれを防ぐ。 | | | |
| | | 旅費計算支援ソフトを活用し旅費事務を効率的に行う。 | 実績等 | | |
| | | 各業務担当の主任・副任による相互チェック体制を強化し、円滑な事務処理を目指す。 | | | |